



平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月3日

上場会社名 西尾レントオール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9699 URL http://www.nishio-rent.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 公志
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役本社管理部門管掌 (氏名) 新田 一三 TEL 06 (6251) 7302
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|-------|------|-------|-------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年9月期第3四半期 | 92,402 | 6.2 | 8,698 | △9.0 | 8,647 | △5.7 | 5,346 | △4.9 |
| 28年9月期第3四半期 | 87,000 | 3.5 | 9,558 | △6.1 | 9,174 | △11.2 | 5,622 | △7.9 |

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 5,953百万円 (8.6%) 28年9月期第3四半期 5,480百万円 (△19.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年9月期第3四半期 | 204.35 | 204.17 |
| 28年9月期第3四半期 | 210.34 | 210.17 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 29年9月期第3四半期 | 156,364 | 74,925 | 46.1 | 2,822.02 |
| 28年9月期 | 150,630 | 74,536 | 47.7 | 2,687.91 |

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 72,051百万円 28年9月期 71,849百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年9月期 | ー | 0.00 | ー | 57.00 | 57.00 |
| 29年9月期 | ー | 0.00 | ー | ー | ー |
| 29年9月期(予想) | ー | ー | ー | 57.00 | 57.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|-----|--------|-----|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 123,800 | 6.8 | 12,430 | 5.3 | 12,000 | 6.3 | 7,690 | 11.1 | 287.68 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 29年9月期3Q | 27,091,364株 | 28年9月期 | 27,089,764株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年9月期3Q | 1,559,518株 | 28年9月期 | 359,058株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 29年9月期3Q | 26,164,450株 | 28年9月期3Q | 26,730,899株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想について

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき予測したものであり、リスクや不確定要素が含まれており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、当社グループを取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等により実際の業績が記載の金額と大幅に異なる可能性がありますのでご承知おき下さい。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年10月1日から平成29年6月30日)におけるわが国経済は、輸出や生産の持ち直しを背景に企業収益が堅調であり、欧米の政治・経済動向に不透明感に残るものの、全体として景気は緩やかな回復基調にありました。

建設業界においては、オリンピック・パラリンピック関連工事を含めた、首都圏の大型プロジェクト工事が動き出したものの、建設資材や労務費が高騰している影響もあり、工事の本格化が待たれる状況にあります。

このような状況下、当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用関連会社)は、中期経営計画「Toward 2017」の最終年度に向けて、財務体質の強化を図ると共に、好調なトンネル関連工事や需要拡大が見込まれる建築関連工事、活用事例が増えつつあるスペース事業への強化を引き続き行い、受注に繋げてまいりました。

その結果、売上高は92,402百万円(前年同四半期比106.2%)となりましたが、レンタル収入が軟調に推移したことや減価償却負担の増加が重なったことにより、営業利益8,698百万円(同91.0%)、経常利益8,647百万円(同94.3%)、親会社株主に帰属する四半期純利益5,346百万円(同95.1%)となりました。なお、EBITDAは26,989百万円(同102.1%)と引き続き増加となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔レンタル関連事業〕

道路・土木関連分野では、新たにi-Constructionの対象となった舗装工事の引き合いも増えるなか、他業種との協業によりICT施工の現場対応力向上とユーザー層の拡大に取り組んでまいりました。また、各地の災害復旧・復興工事向け機械やトンネル工事向け機械が引き続き好調でありました。

建築・設備関連分野では、大型物流倉庫や商業施設、工場の新築工事を中心に高所作業機や小型の揚重機等による売上を確保した他、海外から屈伸型の高所作業機を導入し、大型建築工事や橋梁メンテナンス工事等で活用可能な機械の拡充も進めてまいりました。

イベント・産業界関連分野では、大型仮設テントをスポーツイベント現場でも活用いただくため、当社主催によるパラスポーツ体験型イベントを実施し、スペース事業の拡大に向けた取組みを進めてまいりました。また、海外での展示会への取組みを強化するため、タイで「第2回タイ国際トラックショー」を主催いたしました。

その結果、売上高は89,741百万円(前年同四半期比106.0%)、営業利益8,454百万円(同90.3%)となりました。

〔その他〕

複数の大型土木現場に対するセグメント運搬台車の販売が売上の増加に寄与しました。

その結果、売上高は2,660百万円(前年同四半期比114.9%)、営業利益186百万円(同96.6%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、156,364百万円と対前連結会計年度末比で103.8%、5,733百万円の増加となりました。主な要因は流動資産・その他に含まれる設備立替金の増加3,358百万円及び貸与資産の増加2,865百万円と、現金及び預金の減少1,852百万円であります。

負債合計は、81,438百万円と、対前連結会計年度末比で107.0%、5,344百万円の増加となりました。主な要因は営業債務の増加1,346百万円及びリース債務の増加2,951百万円であります。

純資産合計は、74,925百万円と、対前連結会計年度末比で100.5%、388百万円の増加となりました。

- (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
平成28年11月10日に公表しました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更)

在外子会社の収益及び費用は、従来、当該在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、在外子会社における海外売上高の重要性が今後さらに高まる見込みであることから、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるため、第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

- (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 22,241 | 20,389 |
| 受取手形及び売掛金 | 32,790 | 32,910 |
| 商品及び製品 | 635 | 619 |
| 仕掛品 | 785 | 925 |
| 原材料及び貯蔵品 | 898 | 976 |
| その他 | 5,140 | 9,062 |
| 貸倒引当金 | △240 | △213 |
| 流動資産合計 | 62,252 | 64,670 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 貸与資産(純額) | 48,610 | 51,475 |
| 土地 | 23,744 | 23,787 |
| その他(純額) | 11,447 | 11,790 |
| 有形固定資産合計 | 83,802 | 87,053 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 451 | 417 |
| その他 | 388 | 453 |
| 無形固定資産合計 | 840 | 870 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 3,973 | 4,027 |
| 貸倒引当金 | △238 | △257 |
| 投資その他の資産合計 | 3,734 | 3,769 |
| 固定資産合計 | 88,378 | 91,693 |
| 資産合計 | 150,630 | 156,364 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 17,112 | 18,459 |
| 短期借入金 | 2,329 | 2,862 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,160 | 2,167 |
| 1年内償還予定の社債 | 1,092 | 1,878 |
| リース債務 | 8,911 | 9,847 |
| 未払法人税等 | 1,828 | 1,212 |
| 賞与引当金 | 1,928 | 1,299 |
| 役員賞与引当金 | 111 | 89 |
| その他 | 13,365 | 15,569 |
| 流動負債合計 | 48,842 | 53,386 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|----------------------|-------------------------|------------------------------|
| 固定負債 | | |
| 社債 | 2,178 | 1,006 |
| 長期借入金 | 5,346 | 5,041 |
| リース債務 | 17,924 | 19,940 |
| 役員退職慰労引当金 | 168 | 181 |
| 退職給付に係る負債 | 610 | 647 |
| 資産除去債務 | 625 | 663 |
| その他 | 396 | 571 |
| 固定負債合計 | 27,251 | 28,051 |
| 負債合計 | 76,093 | 81,438 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,045 | 6,048 |
| 資本剰余金 | 7,335 | 7,331 |
| 利益剰余金 | 59,261 | 63,084 |
| 自己株式 | △675 | △4,637 |
| 株主資本合計 | 71,967 | 71,827 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 108 | 204 |
| 繰延ヘッジ損益 | △41 | △8 |
| 為替換算調整勘定 | △184 | 26 |
| その他の包括利益累計額合計 | △117 | 223 |
| 新株予約権 | 29 | 31 |
| 非支配株主持分 | 2,657 | 2,842 |
| 純資産合計 | 74,536 | 74,925 |
| 負債純資産合計 | 150,630 | 156,364 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 87,000 | 92,402 |
| 売上原価 | 50,804 | 54,870 |
| 売上総利益 | 36,196 | 37,531 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 貸倒引当金繰入額 | 28 | 36 |
| 給料及び賞与 | 10,621 | 11,478 |
| 賞与引当金繰入額 | 1,233 | 1,237 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 89 | 89 |
| 退職給付費用 | 244 | 256 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 18 | 17 |
| その他 | 14,401 | 15,717 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 26,637 | 28,833 |
| 営業利益 | 9,558 | 8,698 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 65 | 40 |
| 受取配当金 | 8 | 15 |
| 持分法による投資利益 | — | 8 |
| 為替差益 | — | 42 |
| その他 | 385 | 356 |
| 営業外収益合計 | 459 | 463 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 434 | 464 |
| 為替差損 | 292 | — |
| その他 | 117 | 48 |
| 営業外費用合計 | 843 | 513 |
| 経常利益 | 9,174 | 8,647 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 30 | 36 |
| 投資有価証券売却益 | — | 11 |
| 特別利益合計 | 30 | 47 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 62 | 42 |
| 特別損失合計 | 62 | 42 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 9,142 | 8,652 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,071 | 2,989 |
| 法人税等調整額 | 311 | 126 |
| 法人税等合計 | 3,383 | 3,115 |
| 四半期純利益 | 5,759 | 5,536 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 136 | 189 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 5,622 | 5,346 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 5,759 | 5,536 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △52 | 96 |
| 繰延ヘッジ損益 | △51 | 33 |
| 為替換算調整勘定 | △174 | 286 |
| その他の包括利益合計 | △278 | 416 |
| 四半期包括利益 | 5,480 | 5,953 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 5,439 | 5,687 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 41 | 265 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告 セグメント | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|--------------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | レンタル関連 事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 84,685 | 2,315 | 87,000 | — | 87,000 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 28 | 932 | 960 | △960 | — |
| 計 | 84,714 | 3,247 | 87,961 | △960 | 87,000 |
| セグメント利益 | 9,363 | 192 | 9,555 | 3 | 9,558 |

(注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鋸螺類の製造、建設工
用機械の製造、保険・不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額3百万円には、セグメント間取引消去3百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「レンタル関連事業」セグメントにおいて、Skyreach Group Holdings Pty Ltdの株式を取得し、同社
を当社の連結子会社としたことにより、のれんが568百万円増加しております。

なお、取得原価の配分が完了していないため、のれんの金額は暫定的に算出された金額です。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告 セグメント | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|--------------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | レンタル関連 事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 89,741 | 2,660 | 92,402 | — | 92,402 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 17 | 220 | 238 | △238 | — |
| 計 | 89,759 | 2,881 | 92,640 | △238 | 92,402 |
| セグメント利益 | 8,454 | 186 | 8,640 | 57 | 8,698 |

(注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鋸螺類の製造、建設工
用機械の製造、保険・不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額57百万円には、セグメント間取引消去57百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。